

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 100 (当初計画 : No. 103 )

東北森林管理局

取組名	ナラ枯れ等森林被害対策における地域との連携強化 (継続)
流域名	雄物川流域 (湯沢)
重点事項番号	⑥ - 63
実施箇所及び実施日	湯沢ロイヤルホテル外 平成 24 年 10 月 4 日外
取組の背景及び必要性	平成 20 年度に当支署管内で初めてナラ枯れが確認され、平成 21 年度には被害が拡大したことから、被害拡大防止を図るため早期発見、早期駆除に努め、「雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会」と連携して、林野巡視等の強化に努める必要がある。
取組の内容	平成 21 年度に急速に被害が拡大したことから、「ナラ枯れ被害対策セミナー」を開催し、現在の被害状況や取り組み状況並びに予防対策や今後の課題について、市民に広く周知した。 また、「雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会」を数回開催し、情報収集・共有に努めるとともに、官民一体となって巡視することを確認した。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 被害木の伐倒駆除。林野巡視の強化及び情報収集の構築。
連携協働相手先・役割	雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会 被害木処理の指導、情報の共有、協議会の開催等
取組の結果、反響、今後の課題等	今年度発見された被害木については薬剤注入処理を行った。 また、「雄勝地域ナラ類集団枯損被害対策協議会」との連携強化を図り、被害拡大を阻止するための林野巡視等の強化や情報収集を行う。
PR の実施状況及びその期待する効果	各メディアがナラ枯れについて大きく取り上げ、市民の関心が高く情報提供も予想されることから、林野巡視等の強化に努め、被害木については迅速に処理していく必要がある。

【参考資料】

取組名	ナラ枯れ等森林被害対策における地域との連携強化（継続）
<div data-bbox="391 448 1152 1016" data-label="Image"></div> <div data-bbox="619 1021 885 1061" data-label="Caption"><p>【主催者代表の挨拶】</p></div>	

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 101 (当初計画: No. 104)

東北森林管理局

取組名	地域との連携による高山植物や自然環境等の適切な保全管理 (継続)
流域名	雄物川流域 (湯沢)
重点事項番号	⑥ - 63
実施箇所及び 実施日	平成 24 年 7 月 18 日、平成 24 年 7 月 28 日ほか 雄勝郡東成瀬村仁郷山国有林外
取組の背景及 び必要性	栗駒山周辺地域を中心とした国有林内での山菜採り等の遭難 や、高山植物の盗採を防止するため「栗駒山系遭難対策協議会」 を中心とした、遭難防止の啓蒙活動が必要であるほか、ゴミの 不法投棄にも対処することが必要である。このため、地元市町 村、警察署、NPO 等と連携を図り、自然環境等の保全管理が 必要となっている。
取組の内容	「栗駒山系遭難対策協議会」と連携し啓蒙看板の設置、チラシ 配布、遭難防止パトロール等を実施してきたところであり、特 に当支署では入林禁止ロープ、林野巡視を主体に実施。また、 高山植物の保全については、チラシ配布、パトロールを実施し たほか、高山植物盗採防止取締では、警察署、NPO の協力を 得て検問等を行った。
国有林担当 部局・役割	湯沢支署 林野巡視、入山禁止ロープ・看板の設置、クリーンアップ等
連携協働相 手先・役割	地元市町村、警察署、NPO 法人等 林野巡視、看板の設置、クリーンアップ等
取組の結果、 反響、今後の 課題等	栗駒山周辺の保全管理に向けた国有林の先導的な取組は地域 からも高く評価されているところであり、今後とも一般市民を 巻き込んで取組を強化していく必要がある。
PR の実施状 況及びその期 待する効果	取組にあたっては、市町村広報誌、報道機関へのプレス等に より周知するとともに、ホームページで取組を紹介し、市民に 保全管理の大切さを PR していく。

平成24年度 実施メニュー実施結果表

【参考資料】

取組名

地域との連携による高山植物や自然環境等の適切な保全管理 (継続)



【クリーンアップ活動】



【高山植物盗採防止取締】

No. 102 (当初計画: No. 105)

東北森林管理局

取組名	民・国有林を通じた林業労働災害防止対策充実強化への取組による林業事業体育成の推進（継続）
流域名	雄物川流域（湯沢）
重点事項番号	③－３３
実施箇所及び実施日	林業安全大会の日（平成24年7月6日開催） 林業安全管理講習会（平成24年12月3日開催）
取組の背景及び必要性	管内の民有林における重大災害の発生を教訓にし、横手、湯沢、雄勝地域における民・国含めた林業従事者の労働災害の絶滅と、林業事業体の育成、推進を積極的に図る。
取組の内容	7月6日に、管内の林業従事者約300名が湯沢市の「増田まんが記念館」に集まり、林業安全大会の日を開催した。当日は「林業作業の安全衛生対策」「林業における災害事例と労働災害防止対策」の講演と災害防に向けた実演等について横手労働基準監督署等から説明があり、災害の絶滅を誓った。12月3日には、横手市の民有林内で「伐採作業の安全管理について」の林業安全管理講習会を開催し、災害の未然防止策について現場実習を通じて学んだ。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 林業安全大会の日、林業安全管理講習会の開催企画。
連携協働相手先・役割	秋田県労働基準協会横手支部、横手労働基準監督署、横手・雄勝広域の各森林組合。
取組の結果、反響、今後の課題等	平成15年度の林業安全の日大会等の開催以降、災害件数の激減が図られていることから、今後も企画内容を充実させていくとともに、過疎化や高齢化により地域林業の担い手となる林業事業体の健全な育成が喫緊の課題となっている。
PRの実施状況及びその期待する効果	林業関係者が一同に会する「林業安全の日大会」の開催は他地域では見られない取組であり、安全意識向上等に対する評価は高い。

【参考資料】

取組名	民・国有林を通じた林業労働災害防止対策充実強化への取組による林業事業体育成の推進（継続）
-----	--



【秋田県労働基準協会横手支部林業安全大会での支署長の挨拶】

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 103 (当初計画 : No. 107)

東北森林管理局

取組名	間伐のトータルコスト削減に向けた現地検討会
流域名	雄物川流域 (湯沢)
重点事項番号	② - 21
実施箇所及び実施日	秋田森林管理署湯沢支署松倉沢国有林 平成 24 年 10 月 11 日
取組の背景及び必要性	間伐材の有効活用を図るためには、低コストで効率的な作業システムの普及が必要不可欠となっている。中でも低コスト路網の整備は効率性を高めるためにきわめて重要な位置づけとなっていることから習熟度を高め、民有林サイドへの普及、定着促進を図るため実施。
取組の内容	保育間伐を一層推進し資源の有効活用を図るために、低コスト路網の整備は必要不可欠であり、重要な位置付けにあると認識していることから、林業事業者等を対象に現地検討会を実施した。
国有林担当部局・役割	湯沢支署 検討会開催の企画案内、フィールドの提供等
連携協働相手先・役割	森林組合、林業事業者、市町村等林業関係者 検討会開催のための資料提出等
取組の結果、反響、今後の課題等	低コスト路網の構築と普及を図るためには、低コスト路網の考え方について理解を深めるとともに、各事業者がオペレータを育成し、実勢上での課題を解決しながら流域全体に定着していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	